

オオサキワンダーミュージアム 人と大自然の青空博物館

vol.43

「食べて・感じる大崎耕土スタンプラリー」を開催します

農政企画課世界農業遺産未来戦略室 ☎23-2281

大崎地域世界農業遺産推進協議会主催イベント「食べて・感じる大崎耕土スタンプラリー」を11月1日(休)から12月22日(金)まで開催します。

大崎地域1市4町(大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町)にある飲食店や土産店などを巡ることで、食を通じて世界農業遺産「大崎耕土」を感じてもらうことを目的としています。

参加方法は、大崎地域内の約80店舗のスタンプラリー参加店舗で、飲食や土産品などを購入し、スマートフォンから二次元コードを読み取って、スタンプを5つ集めて応募すると、抽選で10人に5,000円相当の大崎地域の特産品などをプレゼントします。詳細については、大崎地域世界農業遺産推進協議会のウェブサイトやSNSなどを確認してください。

この機会に、大崎耕土で育てられた食材を使った料理などを食べて、世界農業遺産「大崎耕土」の魅力を感じてみてください。



◀スタンプラリー用二次元コード(11月1日~公開)

ちおこらむ 地域おこし協力隊コラム

政策課地方創生担当 ☎23-2129

Vol.7

大崎森林組合で活動している高橋です!

農村環境整備課に所属している「ちおこ(地域おこし協力隊)」の高橋です。

現在、岩出山地域にある大崎森林組合に週に3日勤務し、林業を学んでいます。

林業はとても奥が深い仕事で、現場は一つとして同じ地形はなく、場所に応じて植栽・保育・伐採・搬出などの作業を行います。本市は、県内有数の森林を有しており、森林資源の蓄積は年々増え続けています。今後、本市は林業の面でも大きく発展する可能性を秘めていると日々感じています。

これからも、本市の林業振興に貢献できるように頑張っていきます。応援よろしくお願ひします。



▲立木調査の作業中

大崎市公式SNS発信中です!

エックス ツイッター フェイスブック インスタグラム
市公式 X (旧Twitter)・Facebook・Instagramは、行政情報だけではなく、観光やイベント情報も盛り込み、充実した情報をお届けします。二次元コードから、登録をお願いします。



図書館の情報
を発信⇒



X (旧Twitter)

男女共同参画相談室 With おおさきの情報を発信⇩



Facebook



Instagram



秘書広報課広報広聴担当 ☎23-5023

今月の表紙

10月15日、田尻地域で、第40回田尻ふれあい駅伝大会が開催されました。この大会は、昭和59年から続く、旧田尻町の行政区対抗の駅伝大会です。

大会には、17行政区から15チーム・135人が参加し、全長6.34キロメートルの10区間を力走しました。

子どもから大人までさまざまな年代の住民がたすきをつなぎ、チーム一丸となってゴールを目指した結果、田尻新町行政区が総合優勝に輝きました。

また、各中継地点やゴールでは、参加者が走り終えた選手の皆さんをたたえ合っていました。

令和元年東日本台風や新型コロナウイルス感染症の影響で、5年ぶりの開催となった今大会は、あいにくの雨で肌寒い中でしたが、沿道の声援や選手の皆さんの熱気で、寒さが吹き飛ばす駅伝大会となりました。



▲優勝目指して、よーいドン!

みんなで知ろう! 考えよう! 行動しよう!

Let's! 男女共同参画

vol.9

女性に対する暴力をなくす運動

まちづくり推進課男女共同参画推進室 ☎23-2103

女性に対する暴力は、世界中で深刻な社会的問題であり、その解決には持続的で広範な運動と個人の取り組みが必要です。

パープルリボン運動は、1994年にアメリカ合衆国で、女性に対する暴力の被害当事者によって生まれた草の根運動です。現在は、性暴力、性的虐待、性的ハラスメントなどに反対するための国際的な運動へと広がっています。この運動は、性的暴力の被害者支援や意識喚起を通じて、性的暴力を根絶し、性別に関連する不平等を解消しようとするものです。

私たちは、この運動を支持し、パープルリボンを身に着けることで「暴力のない世界にしたい」「暴力を許さない」という気持ちを表すとともに、暴力の被害者へ、味方がいることを伝えることができます。

公正で平等な社会を築くため、女性に対する暴力をなくし、女性の権利を守り、尊重することが大切です。



市長コラム

天地人

「お米のなみだ」復活版

今夏は、統計開始以来、最も暑い、記録的な猛暑となり、9月下旬まで残暑が続きました。その暑さに耐えかねて、亜熱帯地方が原産地のお米も、高温障害で品質低下や等級下落が多発しました。東北地方の稲作は、かつては「やませ」による冷害との闘いの歴史でした。しかし、今や西日本のみならず、北陸や東北地方まで「高温耐性品種」の開発に取り組んでいます。この現象に直面して、私は15年前にNHK仙台放送局が制作・放映したドラマ「お米のなみだ」が頭をよぎりました。

このドラマの題材は大崎で実践されている「鳴子の米プロジェクト」です。15年前の、フィクションドラマが現実になるとは!。しかし、安心してください!大崎のブランド米「ささ結」は、耐冷性と高温耐性の両面を備えた全天候型スーパー品種であり、今年の猛暑でも安定した品質が確保でき、真価が証明されました。母親「ササニシキ」が今年誕生60周年を迎えました。その子どもである「ささ結」にも、新たな使命を帯びて、次なる60年に向け、お米の歴史を創り出してください。

「ささ結」に期待を込めて、11月から市内飲食店で始まる「ささ結」新米フェアで、感謝を込めてご堪能ください。



大崎市長 髙藤康志

- 04 地域で支える・育む家庭教育支援チーム
- 06 実りの秋、新米を食する
- 07 CITY TOPICS
- 08 Discover OSAKI
- 09 OSAKI Culture
- 10 オオサキプレイガイド
- 12 新型コロナウイルスワクチン接種情報
- 13 暮らしの情報
エコ活動を支援します ほか
- 24 子育て支援情報 ほか
- 26 相談コーナー
- 27 休日救急当番医 ほか
- 28 Main Dish